

# 平成17年度八重山群島病害虫発生予報第3号(6月予報)

## 6月の気象予報

### 要素別予報

要 素	気 温	降 水 量	日 照 時 間
予 報	並	並	並

(平成17年5月27日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

### 地域平均の要素別「平年並」の範囲

要 素	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日 照 時 間 (h)
八重山群島	27.4 ~ 27.8	162.2 ~ 248.6	185.5 ~ 216.4

(平成17年5月27日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

## 6月の発生予報

向こう1カ月間における農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

### 八重山群島

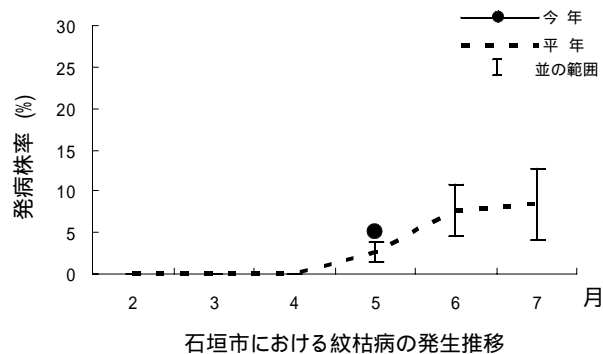
#### 1 水稻(1期作)

##### (1) 紋枯病

発生程度：やや多

##### 予報の根拠

5月下旬の調査の結果、発病株率は5.0%（前年2.0%、平年2.7%）と平年よりやや高かった。



### 防除上注意すべき事項

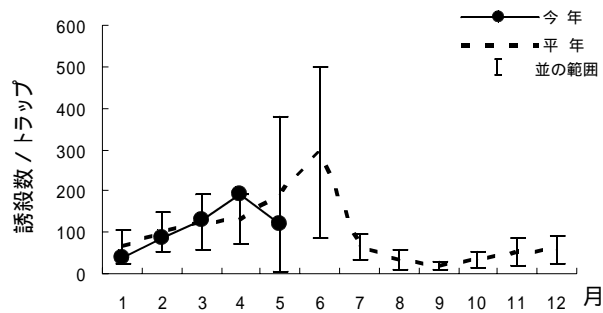
- a おもな伝染源は、前期作の病株から田面や畔に落ちた菌核、また、病わらや畦畔雑草などである。
- b 1期作に多発した水田では、生わらの使用を避ける。
- c 病株や病わら、畦畔雑草を焼却処理する。

## 2 さとうきび

### (1) メイチュウ類

発生程度：並  
予報の根拠

5月のカンシャノシンクイハマキ合成性フェロモンによるトラップ当たり誘殺数は、118頭（前年251.5頭、平年191.3頭）で平年並であった。



石垣市におけるカンシャノシンクイハマキの発生推移

### 防除上注意すべき事項

- 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、生育初期の防除に重点を置く。
- 植え付け時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤を選定し施用する。

### 黒穂病の防除対策について

- 本病の発生は5月～翌年2月までに見られるが、5～7月はピーク期にあたるため耕種的防除に重点をおく。
- り病茎は抜き取り焼却する。
- 培土や剥葉を行う。
- 抵抗性品種を栽培する。

### ハリガネムシ（サキシマカンシャクシコメツキ）の防除対策について

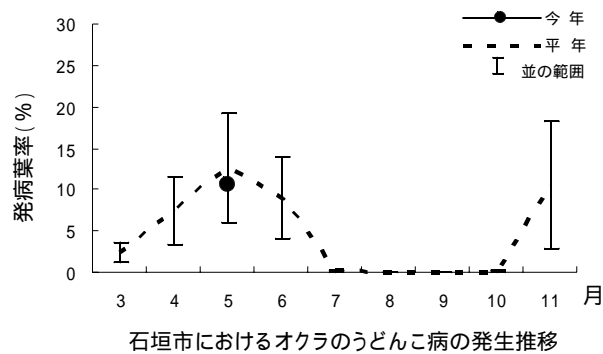
- 1月から5月の性フェロモンによる調査では、トラップあたりの成虫誘殺数は518頭（前年254頭、例年273頭）と平年より多かった。
- 幼虫は地下部（芽、根帯、茎）を加害し、次年度の不萌芽の原因となるため、防除が必要である。
- 幼虫防除は植付時および立毛時（若齢幼虫期）の薬剤防除に重点を置く。
- 植付期の防除は植溝に粒剤を6～9kg/10aを施用する。
- 立毛時の防除は5月下旬～6月下旬に耕種的防除（根切り、培土、中耕）と組み合わせた薬剤防除を行う。
- 乳剤のかん注処理を実施する場合には、使用薬剤量が極めて多いため、地下水などの汚染が生じないように十分配慮する。

### 3 オクラ

#### (1) うどんこ病

発生程度：並  
予報の根拠

5月下旬の調査の結果、発病葉率は10.5%（前年0.0%、平年12.7%）と平年並みであった。



#### 防除上注意すべき事項

- 窒素質肥料の多用を避ける。
- 密植を避け透光通風を良くする。
- 老葉や病葉は発生源となるので、ほ場内に放置せず、ビニール袋等に入れるなどして持ち出し処分する。
- 多発すると防除が困難になるので早期発見、早期防除に努める。

#### オオタバコガの防除対策について

若齢幼虫は昼夜を問わずに摂食するが、老齢幼虫は日中は葉裏に潜み、夜間に摂食する。本種は葉のみならず花や果実も食害することから発生初期に防除を行う。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



#### 沖縄県病害虫防除所

本 所	〒903-0814 那覇市首里崎山町4-222
	☎ 098-886-0227
	FAX 098-886-0242
宮古駐在	〒906-0012 平良市西里2071-40
	☎ 0980 - 73-2634
	FAX 0980 - 72-6474
八重山駐在	〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6
	☎ 0980 - 82-4933
	FAX 0980 - 83-1157